

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福岡市役所			代表者名	成本 純
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	データ活用推進課	連絡先電話番号	092-707-3674
担当者役職	係員	担当者氏名	片瀬 博昭	連絡先E-mail	
住所	810-8620 福岡県福岡市中央区天神一丁目8-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	オープンデータ事業
概要	福岡市役所内の職員向けにデータ活用人材の育成を目的として、地域情報化アドバイザーから福岡市の地域情報化についてご紹介頂く。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） オープンデータ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月14日	講演(実地)	9時30分	16時00分	150
				活動時間（分）	240
2-2. 派遣場所	会場名	福岡市役所研修室		最寄駅	天神地下鉄駅
	所在地	福岡県福岡市中央区天神一丁目8-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上田 健次
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<div>・研修内容について納得するまで何度も協議を重ねてくれた</div> <div>・基本は実地講習だが、一部オンラインからも視聴できるように対応いただけた</div> <div>・当日の資料説明についても丁寧で、質疑応答にも柔軟に対応いただけた</div> <div>・穏やかな人柄のため、研修終了後に担当業務の相談をする受講生も見られた</div>
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	50人
	属性	自治体職員	住民
	人数	50	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	福岡市では、「市民の利便性向上」と「地域経済の活性化」を目的に、オープンデータの提供と活用事例の創出に取り組んでいる。当課でも、平成26年に福岡市オープンデータサイトを開設しし、令和7年にはサイトのデザインや構成を改善するとともに、データの共有・利活用を容易にするための機能（API）を備えた新しいオープンデータサイトへ移管するなど、地域情報化に繋がる取組を推し進めてきた。ただし、いざ他事業所管課が自分たちの所属に置き換えて考えると、オープンデータの認知が少なく、当課としても推進する難しさ・壁を感じている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	庁内においてデジタル・データに関する知識を有する職員を増やし、まずは、それぞれの所属で所有するデータをオープンデータ化することで、業務効率化の見直しや、民間事業者の行政データ活用による市民の生活が便利で豊になるサービス提供に繋がることが期待できる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	職員からみて、地方自治体としてどう地域情報化ができるのか、また市民に対してどう地域情報化ができるのか、それぞれの事例を交えて紹介頂いたので受講者にとっても理解が深まる研修であった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本研修では、職員の地域情報化に関する理解力向上を目標としたものである。そのため、即効性がある訳ではないが、継続的に研修を開催することで、数年後にデータ活用に精通した職員が増えることが期待される。実際に研修終了後、本研修で紹介されたツールについて、受講者より担当業務で活用できないか(市民を巻き込んだ地域情報化ツールを元々検討していた)という相談も複数あった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
	今回初めて全庁職員を対象にした人材育成研修を実施できたので、今後の人材育成カリキュラムの選択肢となり得る研修形態を知ることができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙資料を添付しております	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	まだまだ庁内においても理解度が少ないテーマのため、継続してデータ活用人材育成研修を実施する必要はあるが、同じ研修形式で効果があるか(我々が目指す姿に到達できるか)は検討する必要があると考える。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	福岡市役所内でデータを活用できる人材を増やし、当課が目標とするオープンデータのAPI化50本(令和10年度までに)以外にも、EBPMやTableauというBIツールによって、データを可視化させ、データドリブンな行政運営を進めていく。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

